



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場会社名 中央可鍛工業株式会社

上場取引所 名

コード番号 5607 URL <http://www.chuokatan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 武山尚生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理室長

(氏名) 三浦 潔

TEL 052-805-8600

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	9,762	42.3	356	—	460	—	562	—
22年3月期第2四半期	6,856	△39.1	△372	—	△368	—	△374	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	37.07	—
22年3月期第2四半期	△24.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
23年3月期第2四半期	17,056		11,606		65.7	749.43
22年3月期	17,029		11,359		64.3	719.98

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,211百万円 22年3月期 10,951百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	18.8	670	—	880	—	830	—	54.69

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 15,400,000株 22年3月期 15,400,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 440,119株 22年3月期 189,040株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 15,174,615株 22年3月期2Q 15,278,875株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
【第2四半期連結累計期間】 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州や米国経済に懸念材料はあるものの、アジアを中心とした経済成長にけん引され、総じて景気は緩やかな回復方向に向かいました。一方、わが国経済は、世界経済の回復や政府による景気対策の効果に支えられ、景気は持ち直しているものの、急激な円高による輸出産業への影響等を考えると、先行きの不透明感は強まっているものと思われま

す。当社グループの主要取引先であります自動車産業も、新興国市場向けの輸出増加、国内ではエコカー補助金制度による環境対応車や小型車の需要増加にも支えられ、生産は好調裡に推移いたしました。また、産業機械部品につきましても、中国での設備投資の回復に支えられ高水準で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループといたしましては、自動車販売の変動に柔軟に対応できる生産体制再構築活動と、グループを挙げての原価低減活動を展開してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97億62百万円（前年同期比42.3%増加）、営業利益は3億56百万円（前年同期は営業損失3億72百万円）、経常利益は4億60百万円（前年同期は経常損失3億68百万円）、四半期純利益は5億62百万円（前年同期は四半期純損失3億74百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は170億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加やその他（繰延税金資産など）の増加などにより流動資産が5億19百万円増加し、機械装置及び運搬具の減少などにより固定資産が4億93百万円減少したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少し、54億49百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加及び短期借入金の減少などにより流動負債が1億17百万円減少し、長期借入金の減少やその他（繰延税金負債など）の減少などにより固定負債が1億3百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億47百万円増加し、116億6百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加やその他有価証券評価差額金の減少などによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、業況等を勘案し、平成22年8月6日発表の業績予想を修正しております。

詳しくは、平成22年11月4日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①会計処理基準に関する事項の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

#### ②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,346,817	1,276,447
受取手形及び売掛金	4,111,437	3,829,835
有価証券	51,497	53,283
商品及び製品	347,401	342,976
仕掛品	395,285	404,387
原材料及び貯蔵品	377,324	362,510
その他	290,762	164,146
貸倒引当金	△59,231	△91,835
流動資産合計	6,861,295	6,341,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,229,343	1,275,518
機械装置及び運搬具（純額）	4,603,416	5,033,525
工具、器具及び備品（純額）	324,399	379,831
その他（純額）	1,355,456	1,237,651
有形固定資産合計	7,512,615	7,926,526
無形固定資産		
のれん	1,032	2,065
その他	29,559	31,200
無形固定資産合計	30,591	33,265
投資その他の資産		
その他	2,654,749	2,731,606
貸倒引当金	△3,200	△3,200
投資その他の資産合計	2,651,549	2,728,406
固定資産合計	10,194,757	10,688,198
資産合計	17,056,052	17,029,949

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,413,235	3,160,509
短期借入金	144,760	564,920
1年内返済予定の長期借入金	73,711	60,029
未払法人税等	36,608	22,713
賞与引当金	228,406	193,970
その他	704,716	717,188
流動負債合計	4,601,437	4,719,330
固定負債		
長期借入金	113,191	157,843
退職給付引当金	49,590	48,013
役員退職慰労引当金	147,128	142,686
環境対策引当金	61,283	154,523
その他	476,523	448,240
固定負債合計	847,717	951,306
負債合計	5,449,154	5,670,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036,000	1,036,000
資本剰余金	574,391	574,391
利益剰余金	9,493,181	8,991,446
自己株式	△144,833	△59,679
株主資本合計	10,958,739	10,542,158
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	269,226	384,198
為替換算調整勘定	△16,556	25,306
評価・換算差額等合計	252,670	409,505
少数株主持分	395,489	407,649
純資産合計	11,606,898	11,359,312
負債純資産合計	17,056,052	17,029,949

## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	6,856,732	9,762,233
売上原価	6,531,491	8,559,941
売上総利益	325,240	1,202,291
販売費及び一般管理費	697,265	845,756
営業利益又は営業損失(△)	△372,025	356,534
営業外収益		
受取利息	3,147	1,241
受取配当金	13,079	11,742
持分法による投資利益	34,854	116,408
デリバティブ評価益	77,439	12,313
その他	56,523	50,394
営業外収益合計	185,044	192,100
営業外費用		
支払利息	32,667	7,776
為替差損	—	56,603
デリバティブ評価損	2,180	16,060
借入金期限前返済清算金	101,067	—
その他	45,270	7,499
営業外費用合計	181,185	87,939
経常利益又は経常損失(△)	△368,166	460,695
特別利益		
固定資産売却益	55,760	—
貸倒引当金戻入額	—	32,604
特別利益合計	55,760	32,604
特別損失		
固定資産売却損	8,995	—
固定資産除却損	18,860	16,864
特別損失合計	27,856	16,864
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△340,262	476,435
法人税、住民税及び事業税	2,625	25,701
法人税等調整額	15,448	△101,539
法人税等合計	18,074	△75,837
少数株主損益調整前四半期純利益	—	552,273
少数株主利益又は少数株主損失(△)	16,312	△10,305
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△374,649	562,578



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△340,262	476,435
減価償却費	753,674	683,195
負ののれん償却額	△1,974	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,290	1,576
前払年金費用の増減額(△は増加)	△18,659	△30,406
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,574	4,442
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,241	34,435
資産撤去引当金の増減額(△は減少)	△17,800	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,186	△32,604
受取利息及び受取配当金	△16,227	△12,983
支払利息	32,667	7,776
シンジケートローン手数料	20,000	5,833
デリバティブ解約損	22,752	—
デリバティブ評価損益(△は益)	△75,259	3,746
借入金期限前返済清算金	101,067	—
為替差損益(△は益)	△20,044	47,413
固定資産売却損益(△は益)	△46,765	—
固定資産除却損	18,860	16,864
持分法による投資損益(△は益)	△34,854	△116,408
売上債権の増減額(△は増加)	△312,003	△288,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	49,791	△13,515
仕入債務の増減額(△は減少)	339,523	259,653
未払消費税等の増減額(△は減少)	34,293	△43,928
その他	89,102	16,579
小計	600,027	1,019,170
利息及び配当金の受取額	16,227	12,983
利息の支払額	△35,792	△7,776
デリバティブ取引解約による支払額	△22,752	—
法人税等の支払額	△2,521	△12,605
法人税等の還付額	11,750	2,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	566,938	1,014,550

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△246,550	△116,550
定期預金の払戻による収入	66,550	66,550
有形固定資産の取得による支出	△333,312	△321,904
有形固定資産の売却による収入	66,801	—
無形固定資産の取得による支出	△3,654	△3,316
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△523	△520
投資有価証券の償還による収入	996	—
貸付けによる支出	—	△2,000
貸付金の回収による収入	21,116	35,888
保険積立金の積立による支出	△1,427	△1,703
保険積立金の払戻による収入	61,989	—
その他	2,498	△14,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365,515	△358,352
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,200,000	△417,360
長期借入金の返済による支出	△3,082,029	△24,543
リース債務の返済による支出	△17,002	△16,484
配当金の支払額	△61,022	△60,589
少数株主への配当金の支払額	—	△1,596
シンジケートローン手数料	△20,000	△7,000
自己株式の取得による支出	△24,027	△85,154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,004,081	△612,727
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,993	△25,024
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,799,664	18,447
現金及び現金同等物の期首残高	2,595,088	804,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	795,424	822,587

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	自動車及び 車両部品関連 事業(千円)	金属椅子及び 椅子部品関連 事業(千円)	産業機械部品 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	5,941,658	226,077	688,995	6,856,732	—	6,856,732
営業利益又は営業損失(△)	30,334	△32,898	△94,789	△97,353	(274,671)	△372,025

(注) 1 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分	主要製品名
自動車及び車両部品関連事業	各種ブラケット類、アクスルハブ等
金属椅子及び椅子部品関連事業	オフィス向け各種椅子、施設向け各種椅子等
産業機械部品関連事業	産業機械用部品、油圧機器用部品等

2 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(274,671千円)の主なもの、当社の総務部に係る費用であります。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、鋳鉄・アルミ製品(自動車部品及び産業機械部品)・オフィス家具(オフィス用椅子等)の生産、製造、仕入及び販売を主な内容とし、事業活動を展開しております。

従って、当社は、製品を基礎としたセグメントから構成されており、「可鍛事業」及び「金属家具事業」の2つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「可鍛事業」は、自動車用部品、産業車両用部品及び産業用ロボット部品の製造販売をしております。

「金属家具事業」は、オフィス及び施設向け各種椅子等の製造販売をしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,494,849	267,383	9,762,233	—	9,762,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,494,849	267,383	9,762,233	—	9,762,233
セグメント利益又は損失(△)	735,521	△14,300	721,221	△364,686	356,534

(注) 1 セグメント利益の調整額△364,686千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。